



議会だより



コロナワクチン接種会場

旧吾川中学校体育館接種会場設定と接種の様子

六月定例会

新型コロナウイルスについて	2P
議案の審議 そここが聞きたいQ&A（6月定例会）	3P
審議の結果（6月定例会）	4P～5P
西村医院の直営化に向けた現地視察（総務教育民生常任委員会報告）	6P
高吾北広域町村事務組合報告（第2回定例会）	7P
コラム (1)読書のすすめ・(2)コロナワクチン接種に思う	7P・12P
一般質問（5人が登壇）	8P～13P
議長一口メモ！	13P
残したい文化財（西田家住宅 蔵）	14P



議会中継視聴

仁淀川町のホームページからもアクセスできます。
<http://www.town.niyodogawa.lg.jp/>

スマートフォンで視聴

左記の二次元コードを読み取って、スマートフォン用サイトへアクセスできます。なお、スマートフォンで映像をご覧になる場合は、Wi-Fiを安定して利用できる場所での閲覧を推奨します。

新型コロナワクチンについて 住民の皆さんに知ってほしいこと

○どんな副反応があるの？

主な副反応は、**注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱など**があります。

まれに起こる重大な副反応として、**ショックやアナフィラキシー**があります。

接種後に気になる症状がある場合は、接種医またはかかりつけ医に相談しましょう。また、ワクチン接種後の副反応に関する専門電話相談窓口もあります。

○もし副反応が起きた場合の補償は？

予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定した時は、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金などの給付)が受けられます。

○アレルギーのある人は副反応が起きやすいのですか？

新型コロナワクチンは新しい種類のワクチンなので、これまで明らかになっていない症状が出る可能性もありますが、アメリカでは他のワクチンや食べ物に対して重いアレルギーのある方も、新型コロナワクチンの接種が可能としています。

集団接種会場ではアナフィラキシーが起きないことを確認するため、ワクチン接種後**約30分間は会場に待機**していただきます。万が一に備え、救急隊にも待機してもらいます。

○ワクチンを打っても感染予防は必要？

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを受けた方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。引き続き、マスク着用や手洗いなどの**感染予防対策の徹底**をお願いします。

○最近別のワクチンを打ったが大丈夫？

新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、片方のワクチンを受けてから、2週間後に接種できます。他のワクチンを直近で接種される場合は医療機関にご相談ください。

【お問い合わせ先】

仁淀川町役場	保健福祉課	☎35-0888
池川総合支所	住民福祉課	☎34-2112
仁淀総合支所	住民福祉課	☎32-1132



保健師まで

議案の審議

そこが聞きたい

— 第3回（6月）定例会 —

Q & A

○専決処分の報告

■仁淀川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

問 片岡議員

この条例改正で、町民が知っておいた方がよい点があれば説明を。

答 谷脇保健福祉課長

これは3年に一度の介護報酬改定、介護保険制度の見直しである。

介護保険の被保険者に特に変更点はない。

主な制度改正は、感染症や災害への対応力強化、グループホーム・施設系の人員基準の緩和、情報通信技術を使い、被介護者と介護利用者がコミュニケーション推進を図る。

■令和2年度仁淀川町一般会計補正予算（第8号）

問 大野議員

町内には除草を要望する場所は相当あるはず。道路の除草委託料が減つ

た理由は。

道路維持費の委託料を減額した理由は。



林道の除草状況

答 片岡産業建設課長

除草委託料の減額は、入札減によるもの。

道路維持委託料は、各地区で道路の清掃をしてもらっている道路工夫の年間60日の部分が時間減により、減額となった。

問 大野議員

道路工夫の関係が、377万

3千円減額している。これは未実施の場所が多いのか。

町道も多くあり、地元への影響が心配される。

答 片岡産業建設課長

道路工夫が体調を崩し、年間の時間数を消化しきれなかった部分もある。

道路工夫の人員増加計画があり、当初予算でその分を多く計上していた経緯もある。道路工夫へ道路維持のお願いは今後も継続する。

問 大野議員

防災対策費の工事請負費が370万円減額されているが。

答 黒川総務課長

令和2年度、コロナ禍により防災訓練が中止になった。会場の工作物設置は必要なくなったため減額。

■新たな管理職の紹介

大石 浩平（議会事務局長）



井上 竜一（町民課長）



谷脇 昭仁（保健福祉課長）



大野 真智

（仁淀住民福祉課長）



井上 健一（教育次長）



議案の審議結果

令和3年第3回仁淀川町議会6月定例会議決事項

議案番号	件名	議決結果	賛否
報告第3号	専決処分の報告について（令和2年度地方創生道整備推進交付金事業 町道寺村大板線改良工事） ※変更前の契約金額 66,572,000円 ※変更後の契約金額 70,587,000円 落石防止網工（密着型ネット）の面積増加などにより、401万5,000円増の変更契約	原案報告	報告のみ
報告第4号	専決処分の報告について（令和2年度地方創生道整備推進交付金事業 町道寺村線改良工事） ※変更前の契約金額 64,904,400円 ※変更後の契約金額 64,944,000円 舗装工の追加等に伴い、3万9,600円増の変更契約	原案報告	報告のみ
報告第5号	専決処分の報告について（仁淀川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例） ※指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、本条例の全部を改正	原案承認	全員賛成
報告第6号	専決処分の報告について（仁淀川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例） ※指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、本条例の全部を改正	原案承認	全員賛成
報告第7号	専決処分の報告について（仁淀川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例） ※指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、本条例の全部を改正	原案承認	全員賛成
報告第8号	専決処分の報告について（仁淀川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例） ※指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正に伴い、本条例の全部を改正	原案承認	全員賛成
報告第9号	専決処分の報告について（仁淀川町税条例等の一部を改正する条例） ※地方税法等の一部改正に伴い改正	原案承認	全員賛成
報告第10号	専決処分の報告について（令和2年度仁淀川町一般会計補正予算（第8号）） ※補正額は1億5,259万4,000円の減額、補正後の予算額は、歳入・歳出それぞれ85億1,834万9,000円	原案承認	全員賛成
報告第11号	専決処分の報告について（令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第1号）） ※主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業2,761万2,000円の補正。 ※歳入歳出の補正額は、2,761万2,000円の増で、補正後の合計は、70億2,217万7,000円	原案承認	全員賛成
報告第12号	令和2年度仁淀川町繰越明許費繰越計算書の報告について ※一般会計で、20事業5億9,530万9,000円を、国民健康保険直診勘定特別会計で、1事業8,213万2,000円を繰り越すもの	原案報告	報告のみ

議案の審議結果

令和3年第3回仁淀川町議会6月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第31号	仁淀川町移住定住促進空き家活用住宅の指定及び管理に関する条例について ※空き家を町が借り上げて貸し出し、町への移住定住を促進するため、本条例を制定するもの	原案可決	全員賛成
議案第32号	仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について ※地方税法の一部改正に伴い改正	原案可決	全員賛成
議案第33号	仁淀川町手数料徴収条例の一部を改正する条例について ※法律の改正によりマイナンバーカードの発行手数料の徴収事務が見直されるため改正	原案可決	全員賛成
議案第34号	令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第2号）について ※主な補正は、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む事業者等への事業継続支援金5,000万円、医療機関の診療報酬等の減額分を支援するため医療介護継続支援事業費補助金2,000万円、子育て世帯への給付金として地域通貨券配布事業を行う仁淀川町商工会への補助金1,329万円、同じく子育て世帯への生活支援特別給付金205万円、その他小中学校へのタブレットの配布に1,385万2,000円。 歳入歳出の補正額は、2億1,272万8,000円の増額で、補正後の合計は、72億3,490万5,000円。	原案可決	全員賛成
議案第35号	町道の認定について ※国道33号橘中津トンネル開通により旧国道部分を町道別枝口線として管理するもの	原案可決	全員賛成
議案第36号	字の名称の変更について ※大字二ノ滝の小字名が、字ニシガワが誤って、字ニシガリと登記されていたため訂正するもの	原案可決	全員賛成
諮問第1号 ～第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について  いのうえ みつのぶ 井上 三信 (寺村)  にしもり きみか 西森 君香 (長者丙)  そのやま まちこ 園山真知子 (竹ノ谷)	原案適任	全員賛成

※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎0889-35-1081

☎781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

総務教育民生常任委員会 活動報告

西村医院の直営化に向けた現地視察

～現地調査並びに西村院長との意見交換～

委員長 藤崎源彦

1 調査目的

令和3年5月10日(月)開催の議会全員協議会において、議長から当委員会に「西村医院の現地視察及び調査」の諮問があり、直営化に向けた現地の状況などを確認するため、現地視察調査及び西村院長との意見交換を行った。

2 期日

令和3年5月29日(土)

3 視察結果

①建物外観及び屋外施設

建物は、主たる建物が鉄筋コンクリート造4階建て、建築年月平成8年7月(築25年)で、耐震化されている。外観に目立った問題点はなく、補修の必要もないと思われる。外観の印象として、建物は築年数の割にきれいで、駐車場、外構共によく整備されている。

②屋内設備及び医療機器

西村院長の案内で室内を視察。1階玄関、患者待合室、診察室などは、衛生管理が行き届き、整然としてきれいな状態が保たれている。

2階は、現在不使用となっているが、入院施設で、病室11室、ナースステーション、厨房など配置、管理が行き届き、使用

可能な状態が保たれている。当院は重大災害発生時の仁淀地区医療救護所となっており、現在、病室空き部屋に、町の医療救護備品、医薬品を保管している。避難場所、一時宿泊場所として利用価値は高いと判断される。

医療機器は、耐用年数超過機器が多く、その分評価額が低く妥当であり、医療器具も同様と判断する。



西村医院

4 意見交換

現地視察後、西村院長と参加者全員による意見交換を行った。

医療体制について西村院長より説明。

医療体制で課題となっているのが看護師の人員不足。現在、4人の看護師とパート看護師1人で診療を行っている。当医院は、院内薬局調剤で1人、振動病などの理学療法で1人必要となり、2人または3人で診療の補助や検査を行っている。

足腰が不自由で通院が困難な患者への対応について、送迎車を用意し、運転手を1人雇用している。湖水園、グループホームの診療は、施設側(湖水園、グループホーム)が患者を西村医院へ送迎して診療を行っている。

往診については、木曜日、土曜日の午後をあて、寝たきり患者の往診、産業医として日鉄鉱業(株)などの検診、校医として学校、保育園の検診を行っている。

コロナワクチン接種の業務については、これまで高齢者、施設入所者に行っており、引き続き行う。

5 まとめ

当院は、仁淀地区の住民から親しまれ、命の綱と頼

られる唯一無二の存在である。

現地視察、西村浩介院長との意見交換からも、その重要性が感じられる。

当医院の患者数減などにより継続が困難な状況を受け、町の直営化で医療の空白が生じないように、町との交渉が順調に進むことを望むのは委員の一致した意見である。

意見交換で、大崎診療所も含めた医療従事者の人員不足について議論となり、早急な対応が求められるとの意見があったことを付記する。



意見交換の様子

高吾北広域町村事務組合報告

令和3年6月2日（第2回定例会）

令和3年6月2日（水）高吾北広域町村事務組合議会（第2回定例会）が開かれ、

令和3年度高吾北広域町村事務組合立特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第1号）・工事請負契約の締結（消防緊急通信指令施設情報系部分改修工事）・監査委員の選任の3議案が上程され審議の結果、執行部原案の通り可決成立した。

一般質問

障害者入所施設（湖水園）の改修または建て替えについて

坂本玲子議員（佐川町）

問 湖水園は建築から数十年が経過し現在の障害児者の要求にあった施設になっていない。

バリアフリー化、個室化し、どのような障害があっても入所できるよう、改築または建て替えをすべきではないか。また、職員の研修に力を入れ各種障害に対

応できるスペシャリストを養成されたい。

答 湖水園は建築後33年経過、4人部屋11室、2人部屋3室、定員50人である。平均年齢50歳、最高齢76歳となっている。

建て替えについては、耐年数の50年に達していないため、利用者の利便性及び安全性の向上のために必要な改修、修繕を行いながら、適切な時期に検討する。

バリアフリー化については可能な限り改修していくが、個室化については、現状の面積基準では定員の減員が必要であり、広域で持続的な経営をすることの難しい判断も迫られる状況になる。

職員の研修については順次進めていく。

諸般の報告

消防自家用給油所

4月の運用開始から5月17日までの給油状況はのべ

86台の車両に給油し、ガolin 1千330ℓ、軽油 520ℓ（うち250ℓは越知町スクールバス）

新型コロナウイルスワクチン接種状況

消防職員、各介護施設の利用者及び希望職員など265人が2回の接種を完了し、一定の割合で副反応はあつたがいずれも軽症で大事に至る者はいなかった。1回目と副反応が強く出た職員1人については医師の判断により2回目の接種を回避した。



消防自家用給油所



(1) “読書のすすめ”

4月に「仁淀川町交流センター」4階を改装「図書室」がオープンしました。

これまでの図書室は日曜日お休みでしたが、管理する商工会の配慮で日曜日も利用できるようになりました。お忙しいお父さん、お母さん、子どもたちと一緒にご利用されてはいかがでしょうか。

読書について、効用の説明はしませんが、スマホ時代が到来し最近特に読書の重要性を感じるようになりました。

確かにスマホは単語説明や意味を知るには便利です。しかし、人間が生きていく上に単語や意味を知っているだけでは、突然の会話や物事への対応能力は養われないのです。さまざまな場面や出来事、対応の仕方などあらゆるジャンルで紹介される書物に勝るものはありません。

人間が造られ暗闇（夜）の古代時代に三虫説く人間の頭（虫の知らせ）、腹（虫の居所）、足（虫唾が走る）に三匹の虫がいる説くが囁かれ以来人間は考える力を養い、電気を考え暗闇の世界を征服、また、通信技術や車を次々に生み出した。

読書には思考力を高め消化不良はありません、子どもさんに1日10ページの読書を勧めてみてはいかがでしょうか。

（片岡智準 記）



図書室



交流センター

町 政 を 問 う 一般質問 5人登壇

6月定例会

片岡智準 議員 P 8

☆図書室の利用状況

☆大工職人のグループ化を

大野 弘 議員 P 9

☆マイナンバー制度について

藤崎源彦 議員 P 10

☆高齢者のコロナワクチン接種率は

☆林業振興センターの活用は

左京憲昌 議員 P 11

☆大崎橋について

☆職員の時間外勤務について

☆交流センター(旧中央公民館)の駐車場

西森常晴 議員 P 13

☆歩道(引地橋)の設置見直しは

☆高規格道路(野老山橋)の進捗状況は

☆待合所(正ノ石バス停)はどうなっている

☆大崎診療所の医師を2人に

一般質問

図書室の利用状況

答 1 カ月で454人



問 片岡智準議員

図書室がオープン、図書の利用状況を聞く。

答 竹本教育長

仁淀川町交流センター図書室を5月1日オープン、利用者数は延べ454人。貸出冊数は852冊。利用者数は、見込みを下回り、推移を見ながら対応したい。図書室を利用する場合に必要な登録証の発行人数は全部で161人。女性が多い。年齢別で

は20歳未満が45人ほどになっている。多くの方に利用いただくため絵本の読み聞かせなどのミニイベントの開催、放課後子ども教室の出張教室など進め、また、町広報紙などで広く周知を図るほか、早い時期に今後の運営には図書室運営協議会(仮称)を立ち上げ、今後の取り組み方針などを決めたい。

問 片岡

利用状況を聞き期待外れ。年齢が19歳以下で45人。全体が45人利用され、いわゆる幼児、小中学生の一番本を読んでもほしい年代の対象が約1割、非常に少ない印象を受けた。中学生以下の脳はパソコン以上の能力があり、どれだけ多くの本を読むかによって、知識は広がり人生を左右する。コンピュータ(AI)が進んでも人間に勝る機能はない。中学生以下の子どもの脳は無限。小中学生が本を読むいい環境ができた。答弁にもあったイベントの開催や広報も大切。特にお願いしたいのは、小学校や中

学校の教員が授業を割いて見学に来て、子どもにも機会を与え、読書の関心を高めたい。

答 教育長

読書は、子どもにとって、その発想力、知識の豊富さに、重要な活動だと思っている。子どもが読書活動に親しむため、休日は保護者と、中学生はバスを使って来るような対策も考えた。

大工職人のグループ化を
答 今後の検討課題

問 片岡

町内の大工職人は、個々に活動し、仕事の効率が極めて悪循環。建物建築にも極めて狭い範囲の情報に頼っている。会社や設計士と提携職人は少し機会があるうとは思っている。しかし、会社は落ちなければ、仕事の機会が失われる。問題の解決には町が中心的な役割を持ち、大工職人のグループ化を進め、町施工の工事

には、グループの活用を入札条件とし、仕事場の機会を増やしてはどうか。

答 大石町長

町内でも10年ほど前まで、数人を雇用した、建築専門の事業主が20数社存在したが、戸建て住宅の建築件数減少などで、廃業や規模を縮小、一人親方での改修工事などにとどまっている。町発注の工事でも小規模な工事は地元の大工職人に、しかし入札案件になると、建築業者に雇用されるの仕事が現状。提案のグループ化は近年でも、仁淀総合支所の建築には町内大工職人が集まり、施工した経緯があり、今後大工職人の意見なども参考にし、検討していく課題だと考える。

なお個人事業主の入札参加資格も条件を具備すれば可能。ただし、1千万円を超える工事は一般競争入札となり厳しいと思う。

町では「町産材の家」推進事業を実施、町産材を利用した場合、また、地元の大工職人などを利用した場

合、補助金を出し、408件の新築あるいは改築に取り組み、年平均37件、うち92%に町内の大工職人が携わっている。今後は本人の同意をとり生活便利帳の形で、町内の大工職人、左官、電気工事士、水道関係などの名簿を作成、地域に紹介したい。

問 片岡

将来的には、林業振興センターを中心に、間伐林業者、林産組合、町産材を使って建築する大工職人をグループ登録制にし、仁淀川町登録業者の形をとれば、町営住宅の改修工事や空き家のリフォームは、地産地消の推進、また、まちづくり計画にもマッチする仕組みとなり、大工職人の育成につながる。

答 町長

「町産材の家」推進事業継続、町内の木造建築工事は特記仕様書をもって条件をつけ町産材納品証明書などで徹底している。後継者問題は今後、関係者から意見を聞き検討していく。

問 大野 弘議員

マイナンバーカード、本町の交付率は。町内におけるメリット及びデメリットは。町職員の取得状況について聞く。

答 大石町長

本町の交付率は、令和3年5月1日現在で、23・2%。メリットは、本人確認の際にマイナンバーの提示

と、本人確認が同時に必要な場合、これ1枚で済み、行政窓口での各種申請や金融機関における口座開設など、さまざまな場面で利用でき、特に免許証など、顔写真入りの身分証明書を保持していない方や、免許証を返納された方にも有効な身分証明書として利用できる。

また、コンビニエンスストアで住民票や印鑑証明書の交付サービスも開始され、役場に来なくても交付を受けられる。

将来的には、健康保険証として利用できる。

デメリットとしては、個人情報漏洩、カードを携帯することへの不安といった住民が多くいる。

町職員の取得状況は、3月末の時点で約30%となっている。

問 大野

職員が率先して取得し促進を促すことが大事ではないか。また、作成期限はあるか。

制度の目的は、主に社会保障や、税金、災害対策に

活用されると聞くが、具体的に説明を。

答 井上町民課長

作成期限は定められていない。

行政機関や地方公共団体など、複数の機関で個人の特定が可能となり、社会保障や税に係る各種行政事務の効率化や、申請書類が簡素化されるなど行政手続きの利便性の向上を目的としている。

答 黒川総務課長

職員の取得率が低い。今後とも職員に対し定期的に取得を促していく。

問 大野

作成期限がなければ、財政的にも厳しい中、日曜日に実施する必要があるか。

普及率低下の理由は、保険証や免許証として利用できないこと、また、マイナンバーカード

を常に携帯していることで紛失のおそれを懸念するのでは。

答 町長

期限は定まっていないが、国や県から、制度の普及に努めるよう指導があり取り組んでいる。

今後は保険証や免許証などいろいろな面で必需品になってくると思うが、今の状況では、個人情報情報の流失、あるいは紛失といった不安を持っている。この制度の趣旨に沿って、普及促進に努めたい。

マイナンバー制度について

④国・県の指導で制度の普及に



一般質問



マイナンバーカードで住民票

一般質問

高齢者のコロナ
ワクチン接種率は

③目標を85%に



問 藤崎源彦議員

高齢者へのコロナワクチン接種率見通しは。

また、これまでの経過から、副反応をどのように分析し、今後に活かすか。

答 大石町長

1回目の接種率は、81.1%で、計画の70%より大幅に高い。全ての高齢者接種完了後、未接種者に奨励通知を送ることにより、85%と高い目標を挙げている。

副反応は、1回目より2回目の接種後に発熱などの症状が傾向的にある。医師指導の下、2回目接種後に、解熱剤を希望者に処方、発熱に対応し不安の軽減に努める。

問 藤崎

今後の接種日程は。

また、多くの町民に接種を受けてもらうための対策は。

答 町長

次の接種順位にある、60歳から64歳まで及び60歳未満の基礎疾患のある方を対象とし、7月中に2回の接種を実施する計画。

その後は、国が定めた接種順位に基づき完了した市町村から、ワクチンが配布されるようになっており、スピード感を持って進め、60歳以下の方が、一日でも早く接種できるよう取り組む。

接種促進対策として、タクシー、バスによる送迎を確保し、接種率が上がった。65歳未満についても、保健師が交通手段のない方を把握しており、接種の機会を確保する予定。

を把握しており、接種の機会を確保する予定。

問 藤崎

ワクチンの供給は、国、県次第だが、確実に確保できるか。

答 谷脇保健福祉課長

現時点で、3千300人分のワクチンが届いている。今後も、国の方針によると、確実に届くと考えている。



ワクチン接種会場にて(旧吾川中体育館)

林業振興センターの活用は

③地域の活性化を図る拠点に

問 藤崎

林業振興センターは本町

林業の拠点であり、シンボルとなる重要施設。町産材の活用、需要拡大が期待される。

当施設1階は、仁淀川森林組合、仁淀川町森林管理推進協議会の事務所となるが、2階部分は。

答 町長

2階部分は、50人規模の会議室、作業、閲覧などにも使用できる小会議室、そして誰でも気軽に訪れ、森林体験や学習ができる情報発信スペースを計画。

会議室は、県との連携による本町林業災害安全講習会、本町と「協働の森協定」を締結している川崎重工業の新入社員研修、官民一体となつて取り組む高吾北地域原本安定供給協議会の開催などに使用する。

また、担い手育成事業としての取り組み、小中学生を対象とした林業体験学習会や林業体験ツアー、高知県立林業大学校学習の場としてさまざまな利用を計画。

問 藤崎

企画、運営、管理を統括する責任者を森林管理推進協議会から選任し、常駐させ、交流人口の増加を目的とした企画から、案内、説明役をさせる考えは。この財源は、森林環境譲与税が活用できるのでは。

答 町長

当センターは、仁淀川町総合戦略に掲げている林業施業の集約化、原木の安定供給、担い手確保、木材需給のマッチングなどの拠点施設となる。

現在、林政アドバイザーを雇用しているが、その他にも、川上から川下まで原木の流通を管理していく原木流通コーディネート、施業の集約化や、原木の安定供給を進めていく森林管理マネージャーなど、今後、その人材育成が必要不可欠。

責任者は森林管理推進協議会事務局長の立場で、本町の林業行政の柱となる人材の育成を進めていく。

問 藤崎

森林所有者への還元などメリットについて、当施設が担う役割は。

答 片岡産業建設課長

森林所有者への還元は現在でも行っているが、当施設の森林管理推進協議会が中心となつて森林状況調査を拡大し、見積もりなどを、今より多くの所有者に示せるようにしたい。

問 藤崎

町長は今回が3期12年最後の定例議会となる。

これまで基幹産業である林業の振興に尽力されたが、林業にかける思い、そして、次期町長に託したい思いは。

答 町長

本町には豊富な森林資源があり、利用時期を迎えている。これをいかに活用し、地域の活性化につなげるのが大きな課題。

林業振興を目指し、山の生産者から製材業



町長と研修風景

者までが協力して森林管理推進協議会ができ、木材の搬出量が増えてきた。現在は、3万m³を超え、目標5万m³に向け一步一步進んでいる。

また、本町は全国16地区の一つとして、林業成長化に向けたモデル地区に指定されている。これによる国、県の支援を林業の振興に活かさなければならぬ。

林業の後継者育成は、林業研修生を毎年5人程度受け入れ、大半が、本町に残って頑張っており頼もしく思う。

次の時代を担うリーダーには、これらの取り組みをさらに発展させることを望む。

問 左京憲昌議員

建設地の選定状況を地元で1回説明し、その後、説明も事情聴取もなく進めているが、ルートは、誰がどのように決めたか。

このルートでは、旧吾川中学校の校庭と校舎を分断するもの、この場所は、町内で唯一の広場、今後、何をするにも、必要な箇所、この土地の利用価値が失われるため、説明を求める。

答 片岡産業建設課長

委託調査の結果により、旧吾川中学校下流側への案が、橋梁施工ヤードの確保や、橋梁取り付け部分への影響など、川口橋付近の2案と比べ、小規模で、経済性においても、最も実現性の高い案である。

旧中学校校舎とグラウンド垂離の件は、道路部分をグラウンドの高さにあげ、一部を高架にする工法で分断はない。

問 左京

関係地区の意見聴取は、地元1回で、それ以外にも実施したか、その際、どんなルート結果が出たかを聞く。

答 産業建設課長

関係地域との意見交換の際、国道との取り合わせ部分が主な論点だった。

現在の大崎向口線起点、役場前がすでに改良済みであり、そこを利用する形で、旧吾川中学校の入り口、コミュニティバスの駐車場から中学校グラウンドの南

側に沿い、小森の下、町有地を経て、仁淀川を渡河し、林道横倉長者線の町有地内へ至る約300mの計画とした。

地元への説明は、付近の、現地測量完了の8月下旬頃、最終的な説明を地元区長などに行う予定。

問 左京

すでに入札が終了しているが、設計委託の工期を聞く。

答 産業建設課長

5月27日に入札、令和4年3月24日に完了予定。

今回の業務概要は、測量業務を300m、地質調査業務で土質ボーリングを4カ所、用地調査一式、設計業務は道路詳細設計、橋梁予備設計115mを委託し、実施中。

職員の時間外勤務について

答 新型コロナウイルス対策で一時的に発生

問 左京

全職員1人当たりの「平均月間と年間時間数」を聞く。

答 黒川総務課長

平均月間時間数は3時間44分で、平均年間時間数は、44時間50分。

問 左京

1人当たりの最も多い人の1カ月の残業時間数、最も多い人の最大の年間時間数を聞く。

答 総務課長

1人当たりの最大月間時間数は106時間10分で、最大年間時間数は491時間25分。月間100時間を超えた例は、コロナワクチン接種の準備などで年間に1度発生。

問 左京

職員の配置は適材適所なのか。
特定の職員に偏りはないか。

答 総務課長

令和2年度は、特に新型コロナウイルス感染症対策のため、保健福祉課や教育委員会、時間外勤務が多い。

そのほか、退職補充者の

抑制などで、1人当たりの業務量の増加、国及び県などの制度改正に伴う対応など、時間外勤務が多くなっている。

職員配置は、定期的な人事異動で、その都度適切な職員配置を行っているが、今後、組織体制の見直しを検討しなければと考える。

問 左京

結果として、過労死につながるような長時間勤務は発生していないか。

答 総務課長

職場全体のレベルを上げ、結果として、過労死が発生しない職場環境づくりを努める。

交流センター(旧中央公民館)の駐車場
路線バス回転場の一部を駐車スペースに

問 左京

町民から、図書室を利用したくても、駐車場がないとの苦情がある。

旧吾川中グラウンド跡地を駐車スペースとして増や

し対応できないか。

答 竹本教育長

現在旧吾川中学校跡地は、町内の中学生による陸上記録会の会場で、直線距離で100mの距離が必要、他に代替地もなく駐車部分の拡大は難しい。

問 左京

大崎バス停脇のバス回転場に駐車スペースが確保できないか。

答 教育長

回転場の一部を駐車スペースに利用する案は、今年3月、黒岩観光と教育委員会が協議。回転場の一部を駐車場に転換する承諾が得られ、今後は、総務課が黒岩観光と最終的な調整を行い、来年度予算で駐車場の整備工事に着手する予定。一定の駐車場不足は解消できると考えている。



(2) コロナワクチン接種に思う

仁淀川町では5月10日からコロナワクチンの予防接種が個別・集団接種の順序で始まり、ワクチン接種を希望する65歳以上の高齢者は終了し、64歳以下の希望者は8月中旬に接種が完了する見通しになりました。

高知県内では予約の混乱や見通しの立たない地域などをテレビで紹介していましたが、本町は行政や医療関係者などの手際のよい対応で順調に進み、接種後の高熱など副反応対策にも万全を期し、良好な結果で推移しています。残る12歳以上の一日も早い接種完了が待ち望まれます。

しかし、これで感染症対策が終了したわけではありません。

今回のコロナは、いろいろな形態に変異しワクチン接種後の感染も報道されています。接種は重症化の防止程度とあっていまだき、いましばらくはマスクの着用など油断することなく、これまでの行動をとり、全ての解禁を待つことにしましょう。
(片岡智准 記)



ワクチン接種会場

歩道(引地橋)の
設置見通しは③ 3年後には
着工できるのでは

問 西森常晴議員
引地橋歩道設置の見通しは。

答 大石町長

昨年度、土佐国道事務所が地盤調査を実施。今後は、詳細設計を行い、早期の設置に向けて検討しているという。

問 西森(常)
完成の見込みは。

答 片岡産業建設課長
3年後、着工できるのでは。

高規格道路(野老山橋)の進捗状況は
③ 進んでいる

問 西森(常)

国道33号(野老山橋)の高規格化は進んでいるか。



引地橋

答 町長

高知西バイパス、鎌田から波川間は本年秋頃、越知道路バイパスは、来年度開通を目指し工事が進んでいる。

質問の野老山橋区間は、事前通行規制解消の観点で検討すると聞いている。

問 西森(常)

いつ頃になりそうか。

答 産業建設課長

いの越知間よりは早く事業化されるのではないか。

待合所(正ノ石バス停)はどうなっている

③ 地元の大工職人に

問 西森(常)

正ノ石バス待合所の設置予定は。

答 産業建設課長

地元の大工職人に見積もりを依頼する予定。

大崎診療所の医師を2人に

③ 確保が難しい

問 西森(常)

終末医療について。

自宅で最期を終える応援体制はとれているか聞く。

答 谷脇保健福祉課長

介護保険法の改正により、在宅医療、介護の連携推進が制度化され、一定の体制はできているが、家族の介護負担により、入院となることも多く、課題は残っている。

問 西森(常)

大崎診療所の2診制が望まれる。

自宅で、最期を終えるに

足りないもの。高齢者の具合が悪くなつたとき、いつでも往診できる体制づくりは必要。

答 保健福祉課長

医師の確保が難しい。



大崎診療所

議長一ロメモ！

選挙の年

今年度は8月に町長選挙、秋には衆議院総選挙、そして来年1月には町議会議員選挙と選挙が立て続けに行われる年。

仁淀川町の選挙は1年で一番過酷な時期に行われてきた。町長選挙は8月の一番暑い時期、そして議員選挙は1月で大寒の時期。今、8月の町長選挙を前にして、町民の中には町長選挙と議員選挙を統一して一度にし、季節を変えてはどうか？との声がある。半年間隔で行われる選挙を一度にすれば人件費は単純に半額ですむ、とはいえ、事はそう簡単ではない。公職選挙法などの諸規定を考慮しなくては実行に移せない。

しかし、人口減少が進み財政状況も厳しくなる中、検討してみる必要があるのではないか。そのように考えるこの頃である。

議長 竹本 文直



西田家住宅蔵 (仁淀川町土居甲)



西田家住宅 蔵(旧池川) 建築年：大正／1917年 土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積24㎡
国指定有形文化財

仁淀川支流土居川の川石で築いた基壇上に南北棟で建つ。桁行2間半梁間2間、置屋根式の切妻造、棧瓦葺、平入の2階建土蔵で、腰を簀子下見板張、上部を土佐漆喰塗とし、2段の水切瓦を回す。窓の上下にも水切瓦を付けるなど丁寧なつくりで際立っている。

(文化庁ホームページより引用)

議 会 日 記

令和3年3月

9月12日 定例議会

9月9日 全員協議会

12月 議会だより特別委員会

26日 議会だより特別委員会

4月

9日 高吾北地区地域安全協会

11日 中津観光開き安全祈願祭

16日 議会だより特別委員会

16日 吾川郡町村議会議長会

27日 定期総会(いの町)

高吾北地区地域安全協会

役員会(佐川町)

5月

10日 全員協議会

17日 道路整備促進期成同盟

29日 高知県地方協議会通

常総会、道路整備促進

高知県大会(高知市)

総務教育民生常任委員

会現地視察

6月

1日 議会運営委員会

高知県平和行進実行委

員会来庁

編集後記

議会だより編集委員5人が5回にわたり割り付け編集を担当しました。

編集の割り付けにもそれぞれの個性が出、町民の皆さんに意見を聞きましたが、目的は編集委員の経験で、成果があったと思います。

今、町内では高齢者を対象としたコロナワクチンの接種が行われ、2回目の接種も進み接種状況は極めて順調と見受けられます。順調の要因は事前広報と会場準備の万全、またアフターケアに対する配慮などありました。

コロナが早期に終息し平穏な日常を取り戻したいものです。

今年の梅雨は例年より相当早く訪れ、この気象状況を背景に果物の実の付きを悪くし、また、なすをはじめ野菜類にも大きな影響が予想され都市部では野菜高騰を懸念。しかし幸いにも仁淀川町では個々が野菜を栽培、さほどの心配もない最高の町だと思います。

(片岡 智準 記)

委員長 片岡 智準
副委員長 左京 憲昌
委員 大野 憲弘
藤村 安夫
野崎 源彦
竹本 文直
議長